

# 行政視察等報告書（個人用）

平成 30 年 4 月 2 日

知立市議会議長 様

報 告 者	高木千恵子
日 時	平成30年3月29日
視察（研修）場所	衆議院第2議員会館・参議院会館
目 的	予算等要望の提出 ・地方消費税の清算基準見直し ・知立駅付近連続立体交差事業関連の予算 ・学校施設環境改善交付金の予算

## 要望内容

### 1、地方消費税の清算基準の見直しに関する要望

平成30年4月1日より適用される地方消費税の清算の基準の見直しにより、市町村への交付すべき地方消費税交付金（一般）について、交付すべき額の人口と従業員数がそれぞれ2分の1となるが、全額を人口となるように交付基準の見直しを要望。

### 2、知立駅付近連続立体交差事業並びに関連事業の安定的な予算確保に関する要望

知立駅高架事業が平成35年に事業完了と知立駅周辺の市街地再開発を積極的に支援の要望と、安定的な予算枠の確保を要望。

### 3、学校施設環境改善交付金の安定的な予算確保に関する要望

市内小中学校の老朽の対策として大規模改造工事及び長寿命化改良工事が、計画通りに事業進み、児童生徒が安心して学べる環境の維持のために安定的な学校施設環境改善交付金の交付を要望。

## ※ 大見衆議院議員

- ・陳情は、当初予算の編成後の秋の実施が必要。
- ・国からの交付金確保のため、学校施設大規模改修の計画中は、予算の有無にかかわらず、予算書にあげるべき。
- ・連続立体交差事業の完成により、車利用所が最も恩恵を受ける。しかし、連続立体

交差事業の陳情者に、通勤などで駅周辺を利用する企業等が無いが、通勤対策として、陳情も考えてほしい。

- ・知立まつりの保存について、自助努力をすべきでは。カレンダー、団扇などを作り、協賛者の名前を入れるなどして、収益を作り、貯めることで、祭りの維持事業がスムーズに実施できると思うので、「保存会」をつくとよい。など

#### ※ 酒井参議院議員

- ・消費税の分配については、少ない自治体に対し、公共性のある事業に対し、他市からするなどの考えもある。
- ・知立市全体のビジョンをつくり、市全体の考えを示すべき。など

### 陳情・要望活動を終えて

大見衆議院議員訪問中に国土交通省所管の事業費が示され、連続立体交差事業による都市交通の安全と円滑化の事業名で、知立駅付近として36億3700万円の予算の連絡を受けるが事が出来ました。知立市が35年完成に向け、予算計上を的確にする必要を感じました。学校施設環境改善交付金に関し、工事実施に向かって予算計上がされていないと、計画があっても、交付金は不要なもの判断される。必ず予算計上をし、子どもたちの安全な教育環境を整えていきたい。

トイレの洋式かももっと積極的に取り組めるのではないかと学校施設に予算を増やさなければならないが、少子高齢化を考えたとき、学校のトイレ改修は、避難所としても利用されるため、ユニバーサルデザインの考え方からも早急にトイレの洋式化に取り組むべきと感じました。

他自治体では、陳情要望活動を積極的に実施されており、個々の自治体の要望の強さを感じられるとお聞きしました。知立市長、担当部局、市議会、そして市民団体、企業、労働組合など、多くの市民が行動を起こさなければならないと感じました。